

平成26年第3回県教育委員会会議
報告事項(6)

生涯学習振興課

1 報告事項

第55回沖縄県社会教育研究大会開催結果報告

2 事項の説明

- (1) テーマ：豊かなつながりの中での家庭教育
(2) 主催：沖縄県教育委員会
(3) 日時：平成26年1月24日(金) 10:00~15:45
(4) 会場：名護市民会館中ホール
(5) 内容

①開会行事(15分)

主催者あいさつ 沖縄県教育委員会教育長 諸見里 明
歓迎のあいさつ 名護市長 稲嶺 進

②表彰(15分)

沖縄県社会教育功労表彰 沖縄県教育委員会教育長 諸見里 明
被表彰者代表あいさつ 大城 誠一

③講演(90分)

テーマ：「家庭・学校・地域のトライアングルで子育てをしよう」

講師：明石 要一(千葉大学名誉教授・文部科学省中央教育審議会委員)

- 1) 世の中の変動を理解する 2) 体験が人生の成功を決める 3) 違いを探すトレーニング
4) どんな人間を育てるか 5) 二つの風と一つの色を作ろう

④アトラクション名護桜太鼓(20分)

⑤行政説明：県教育庁生涯学習振興課(15分)

沖縄県児童生徒の生活実態調査、やーなれー運動

⑥シンポジウム(120分)

テーマ：学校・家庭・地域をつなぐキーパーソンの役割

コーディネーター：嘉納 英明(名桜大学教授・沖縄県社会教育委員)

シンポジスト：宮城 潤(那覇市若狭公民館事業部長)

和宇慶 江理子(うるま市立天願小学校校長)

東江 靖典(名護市市民福祉部社会福祉課保護係)

⑦閉会行事(5分)

閉会のあいさつ 沖縄県社会教育委員 議長 仲門 勇市

3 実施結果

(1) 参加者数：372名(昨年より27名増加)

(2) アンケートより

- ・明石先生の講演は、ユーモアたっぷりに、どのように地域社会が変化してきているのかを考え、改めて気づかされることが多くありました。力を入れすぎず柔軟に人や地域とこれからも関わり、自分自身も共に育っていききたいと思います。
- ・シンポジウムにおいては、シングルマザー・生活保護世帯の児童生徒への支援等、的を絞った視点やきめ細やかな取組みや工夫が新鮮で勉強になった。どのような人々がどのように繋がるのかについて、キーパーソンを知りどう取り組むかについて色々な示唆を与えられた。
- ・家庭教育について、色々事例が聞けた。それぞれの立場を意識したり理解したりしながら、機関とつながっていききたい。全ては、子ども達の未来のために取り組みたい。